

# 政策実現と時の流れ

部活動の提案と  
政策の動きから



政策を実現するには、一度の質問で達成できることはほとんどなく、何度も論点として出しながら、実現につなげていくことになります。

今回、比較的わかりやすい事例として部活動に関する政策提案を取り上げます。

2013年が部活改革に関するスタートで、上の図にあるような形を提案

しました。その後、何度もやり取りを重ねた結果、2016年の「鈴鹿市運動部活動指針」の策定につながりました。

並行しながら、市立体育館改修とあわせ土、日、祝の部活の在り方を問い合わせ、2019年には鈴鹿市スポーツ推進計画に意見しています。

この間、国では部活における体罰

市などの動き	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
市活動指針										
一般質問など	3月 9月 中学校部活動の改善 中学校体育館の活用	3月 9月 中学校部活動の改善 中学校体育館の活用	3月 9月 中学校部活動の改善 中学校体育館の活用	3月 9月 中学校部活動の改善 中学校体育館の活用	6月 休館対応と中学校部活動の改善					
提案が形成										
計画案にパブコメ提出										
担当課で意見交換										

問題から、教職員の働き方改革に論点が変化しているのですが、その方向は2013年に提案したものに近いと考えています。時が流れてこのよう

につながることは感慨深いです。  
他に提案している政策も多くありますので、なんとか実現につなげたいと考えています。



まっすぐ！取り組みます

## 子育ち、子育て、若者に魅力を

### 1. 子ども・若者政策の充実

放課後の小学校をどの子もいられるしくみづくり。  
学びの充実と支援。市政への若い世代の参画推進。

## 災害にしなやかに備える

### 2. 防災・減災対策の充実

南海トラフ地震、極端な気象現象に対しての備え。  
事前復興の考えを活かします。

## 健康で安心できるために

### 3. 地域づくり・地域医療の充実

身近な福祉のために地域づくり政策を充実。  
子どもの救急など地域医療政策を推進。

## 人口減少時代にあわせた改革

### 4. 市民感覚で行財政・議会改革

財政運営、コンプライアンス、行政をチェック。  
開かれた議会に。議会定数の見直しを検討します

## 4年間の自己評価は及第点か

68.7点

満足ではありません  
足りない部分を  
形にしたい思いです

子ども・若者



65点

健康・福祉



65点

市政改革



75点

干の力不足を感じます。

千の力不足を感じます。  
終わりはありませんし、依然として南海トラフを震源とする地震リスクを考えると、若

が反映されるなど、一定の成果はあります。

しかし、極端な気象現象について、気象災害や地震災害に対する市への働きかけは平素から折に触れて動いています。その中、環境基本計画（案）に気候変動適応が記述されたり、都市マスタープラン改定でも、事前復興の考え方があり及第点と考えます。

## 防災・減災



70点

一般的質問、質疑、討論で取り上げたことは、自分のホームページにまとめてありますし、市議会ホームページ議事録を検索して比較、ご覧いた

る必要があります。

ご意見やご感想  
などはこちちらに  
メール ⇒

いろいろな考え方  
書いています  
ブログ ⇒



「子どもにツケをまわさない」と、人口が減る中で財源を考えるのは、どれだけ聞こえが良くても、将来の選択肢を軽視したり、将来の財布に手を突っ込んでいると見えるべきではないでしょうか。

「子どもにツケをまわさない」とやり取り、鈴鹿が良くなるように活動を行いました。それらはSNSやブログで発信することもありますが、見えない活動となっているものが多々あります。

たまにブログなどに書いたりしますが、政策や政治は「子どもの時間」で考えて行動することと、「子どもにツケをまわさない」という考え方で行動することが大切と考えています。

つれづれな  
つぶやき